

1 調査日 令和5年7月28日（金）

2 調査の概要

(1) びわ湖放送株式会社（大津市）

びわ湖放送株式会社は、公共の福祉、文化の向上、産業と経済の繁栄に役立ち、平和な社会の実現に寄与することを目的に、昭和46年に設立され、昭和47年に開局した。

同社の株式の約35%を保有する滋賀県は、誰もが手軽に県政情報や地域生活情報を入手することができる県域テレビ放送の機能を強化し、災害発生時等の情報発信力の維持向上を図るため、本年度、同社に対する出資を行い、設備更新を支援する。

ついては、今後の委員会活動の参考とするため、同社を訪問し、設備の概要と経営状況等について調査を行った。



(2) 滋賀県消防学校（東近江市）

消防学校は、消防職員、消防団員、その他消防関係職員に対する教育訓練の実施を目的として、昭和38年4月に設置され、昭和60年4月に現在地に移転したが、これまで、その時代の時代の要請に応じた初任教育や基礎教育をはじめ、専科教育、幹部教育、特別教育等々多くの教育、訓練を実施し、消防職団員の育成に尽力してきた。

一方、近年、複雑多様化する火災や事故、さらに、全国各地で国民の生命、身体および財産を脅かす大規模地震や集中豪雨等の自然災害が相次いで発生し、県民の安全、安心への関心の高まりとともに、高齢化をはじめとする社会環境の変化や都市化の進展により、消防機関に寄せられる期待もますます大きくなっている。

また、併せて、今後想定される各種災害に備えた教育や自主防災組織の防災力強化のための指導者養成など、これまで以上に質の高い防災を主眼にした教育が求められている。

ついては、同校を訪問し、施設の概要や訓練の状況等について調査を行うとともに、当日実施される予定の初任科生への教育訓練現場の視察を行うとともに、初任科生の方々と県民参画委員会を実施し、消防学校の教育の充実や卒業後の夢や希望について意見交換を行った。

